



きらめき



学校HP



読書の秋 ～11月は読書月間～

校長 小川 潤也

少し冷えた秋の空気が心地よい時期となりました。いよいよ秋本番。この季節は物事に集中して取り組むことに適しており、芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋…など、様々な秋の取組があります。その中で、読書に一番適した季節であるということから由来する読書の秋。中国・唐代の文人である韓愈(かんゆ)が残した詩の中に「燈火(とうか)親しむべし」という一節があり、「秋の夜は涼しさが気持ち良く、あかり(灯光)で読書をするにはもってこい」という意味です。この言葉が、読書の秋の由来になっているそうです。

さて、活字離れと言われて久しいのですが、本来、子供たちは、読書好きなものです。年齢が高くなるに従って、活字離れが起きてくるのではないかと推測します。テレビやゲーム、インターネット等、楽しい遊びがたくさんあり、ネットで簡単に情報が手に入るのですから、「読書離れ」が起きてても不思議なことではありません。ウェブで情報がこんなにあふれている時代に、それでもまだ、1冊の本を手にする意味は何でしょう？私たちは、読んだり見たりする情報を蓄積していくことが大切です。よい書籍の中にはひとつの大きな世界観があり、この世界がいったいどのようなものなのかを、全力で私たちに伝えてくれる気がします。本の世界は私たちの心の中に静かに定着し、考えの土台を作っていくことができます。読書は知識を蓄え、感覚を磨き、考える力を養うだけでなく、視野を広げ、想像力を鍛えます。本を読む意味は、そこにあると考えます。読書意欲を高めるには、周りの大人がたくさん本と関わり、読書好きになることだと思います。例えば、読み聞かせをする、大人が読書してモデルを示す、適切な本を紹介する、図書館に連れて行く、名作と学習の関連だけに限定しないで広く読ませるなど…挙げられます。読書の秋を機会に、たくさん本と出会ってほしいものです。

私は、今年おすすめの本として『ブタのいどころ』(小泉吉宏 著 (株)KADOKAWA)を子供たちに紹介しました。「心のマニュアル本」と言われ、ロングセラーになっているので、ご存じの方も多いと思います。絵も多く、分かりやすい言葉で書かれていますので、大人だけでなく、子供にも読みやすいと思います。同シリーズから複数出ているので、この秋に読み返したいと思います。機会があれば、ぜひ手に取ってほしいと思います。



【運動会の実施】

絶好の運動会日和の中、運動会を実施することができました。子供たちは、本番に向けて練習を重ね、一生懸命に競技、演技をしました。運動会開催にあたり、前日の準備、当日の役割などPTA本部の皆様、保護者の皆様に、多数ご協力いただきました。お陰様で、大きな事故なく運動会を終えることができました。運動会の校長の最後のあいさつでも述べさせていただきましたが、運動会という行事を通じて、子供たちは一人一人成長し、自信につながられたのではないかと思います。その成長を、運動会という行事だけで終わらせることなく、日頃の学校生活につなげていくことこそが重要なことだと考えます。



【インターネット教室】

10月28日(月)インターネット教室を実施いたしました。当日は、KDDIスマホ・携帯電話安全教室事務局より、講師に来ていただいて、1年生～3年生、4年生～6年生に分かれ、動画を用いて、正しいネットの使い方についてお話をさせていただきました。昨今のネットトラブルの大半が学校外でのネット使用によるのも事実です。ぜひ、ご家庭でのネット使用上のルール作りにご協力お願いいたします。

【校長室より】

○なかよし学級が、畑を借りて、地域の方に教えていただきながら行っている農作物栽培。先日、サツマイモの収穫を行いました。予想以上にたくさん収穫できました。地域の方々のご協力により成り立っています。ありがとうございました。

○近隣の市町でインフルエンザが流行し始めました。うがい、手洗いなど感染対策を十分に行うようご家庭でも声をかけてください。また、体調不良の場合は、無理して登校させることなく、医療機関を受診してください。

○11月29日(金)13時45分～ 南中学校翔南ルームに於いて南小中学校学校運営協議会が行われます。傍聴を希望の方は、学校までご連絡ください。